

●中身飲料の違いやキャップの有無が消費者行動に与える影響●

(2019年度消費者インターネットアンケート調査概要)

飲料用紙パックの中身飲料の違いと、キャップの有無が消費者のリサイクル行動に与える影響をインターネットアンケート調査でしてみました。

調査時期 : 2019年8月
 調査対象 : 約1000mlの紙パック8種類
 中身飲料は、牛乳、ヨーグルトドリンク(YD)、果汁飲料、清涼飲料の4種類、
 中身飲料毎にキャップの有無の2種類 計8種類
 調査対象者 : 20~70代の男女、1519人
 飲料別調査数 : 飲料毎に異なる
 8種類の飲料の調査数(n)は、飲料間で比較可能になるようにサンプリングしており、
 調査数の比率は、市場の比率と異なる。

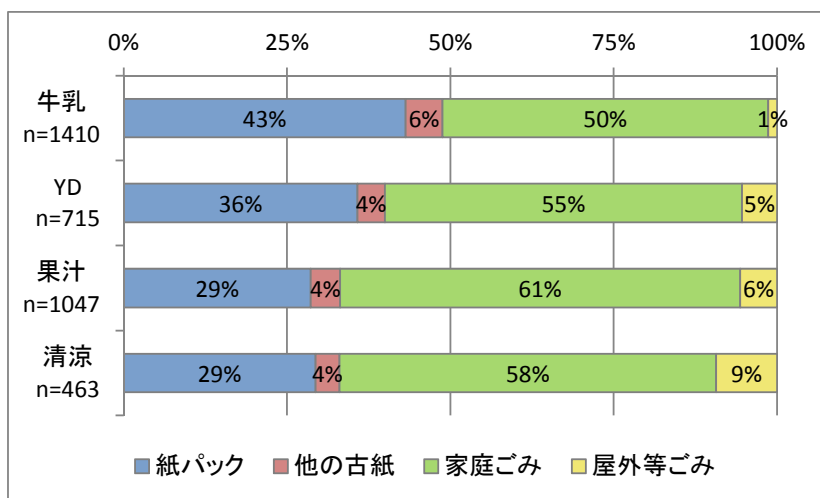
消費者の処理方法(排出先)

- 紙パック: 店頭回収や市町村による「紙パック」としての資源回収に出す
- 他の古紙: 市町村などの他の古紙、例えば雑がみなどの資源回収に出す
- 家庭ごみ: 家庭で燃えるごみなどに出す
- 屋外等ごみ: 家庭以外でごみとして出す

【1】中身飲料別の処理比率

紙パックとしての処理比率は、牛乳が最も高く、他の古紙とあわせると資源回収が約半分に達します。しかし、他の飲料は牛乳ほどには紙パックや他の古紙などの資源回収に出されていません。

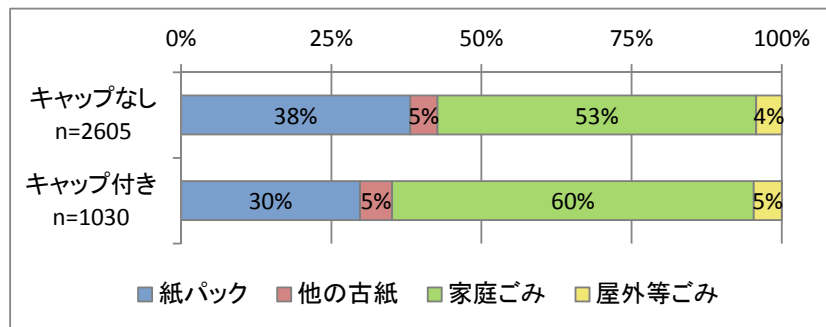
図1 中身飲料別の紙パック処理比率(キャップの有無を問わず)



【2】キャップの有無別の処理比率

キャップの有無別の処理比率をみると、「キャップなし」の方が「キャップ付き」よりも紙パックとしての処理比率が高くなっています。

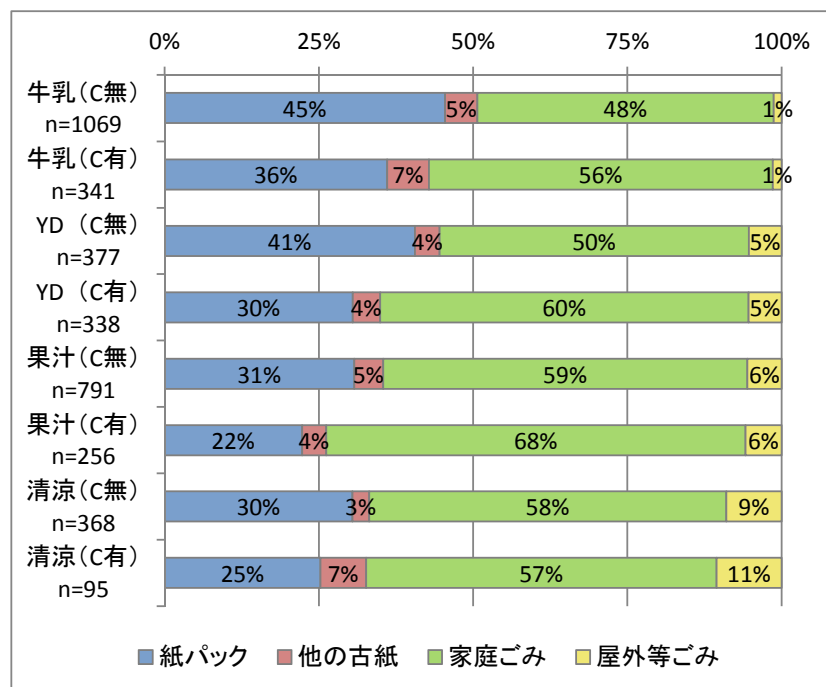
図2 キャップ有無別の紙パック処理比率（飲料種類を問わず）



【3】飲料別・キャップの有無別の処理比率

アンケート調査の対象とした全8種類の処理比率をみてみます。紙パックとしての処理は、牛乳キャップなし（「牛乳（C無）」）が45%で最も高くなっています。

図3 調査対象8飲料別の紙パック処理比率



☆紙パックの回収量を増やすには、飲料種類では牛乳以外に対して、キャップの有無ではキャップ付に対して働きかけていくことが望めます。